

# ア フ タ ー A F T A 技能検定通信

## ◆技能検定試験申請者確定

全国フローリング技能協会々員の技能検定試験申請者は一級 31 名、二級 12 名となりました。木質系床工事作業の技能検定試験は全国各地で行われるようになりましたが技能協会が主体となって技能検定試験に関係する東京都の試験に北海道から、沖縄県までの受験者が申請され、技能協会々員が技能検定を理解され関心を持たれてきたと思います。協会員の皆さまのご協力に感謝いたします。

## ◆実技検定試験の変更について

昨年度から変更になったものでは①複合フローリングの雁行タイプのフロアーです。一、二級共変更で、75 幅 4 列の雁行から 145 幅 2 列に変わりました。②二級の持ち込み工具に“平行定規”が可能になりました。これは、通常現場で使用しているもので、最初から規制に疑問がありました。その他の変更ありません。

## ◆寄稿

### 「技能士制度に期待」

小橋智之

三十五年程前に、学生アルバイトにて学校の床をサンダー掛けウレタン塗装を行った事でこの業界との付き合いが始まりました。その当時は、インベーダーゲームが流行し、漫オブームが起っておりまして。

右も左も判らずましてや経済状況に全く興味が無い学生でしたので、只お金が欲しくてアルバイトをしている様な状況でした。でもその当時は、職人になると、サラリーマンの三倍は稼

げるといわれている様な時代でした。

只、今は必ずしもそう言うわけではなく魅力的な収入じゃなくなってしまった様な気がします。

物作り日本と言われる中で、中々建設業の職人さん達は脚光を浴びない様ですが、人様に誇れる様な仕事と自負している中で、技術力が向上出来る制度が出来ました。それが技能士制度だと思います。いい仕事をしたいと言う欲求が技術力の向上につながり現状の自分の実力がこの制度で試せるわけです。

少しでも多く稼ぎたいと思うのが本音だと思いますが、いい仕事をして感謝して頂くと言う事も又格別なご褒美だと思います。そんな気持ちを持ちつづけければ、必ず人は集まってくると信じています。

この業界に若い世代の人達が非常に少ない中少しでもこの仕事の魅力を伝えていけたらと思っています。

現在当社の職人も七名技能士の資格を取得しています。今回も二名受験する予定です。繁盛期になると当方職人だけでは、やりきれない状況が毎年の様に来る為、少しでもお客様に迷惑がかからない様、技術を取得し現場施工が出来る様な体制を作ろうと思っています。

より多くの人達にこの技能士制度を知って頂き技術の取得、向上につなげ、より一層元気な業界にしていきたいと思っております。

「株式会社 ヒカリ美装 専務取締役

全国フローリング技能協会 近畿・東海支部長」

発行所

全国フローリング技能協会

検 定 部

東京都足立区鹿浜 1-8-21

TEL 03-5691-7794